

第1段階 評価基準表(1次審査・書類審査)

評価項目	評価の着眼点	
		判断基準
(1) 類似事業の実績	類似事業の実績	本事業に類似した事業実績がある。
(2) 実施体制	実施体制	類似事業の経験があるスタッフの従事などチーム、組織体制、進行管理、危機管理等が明確で充実し、質の高い業務の実施が見込める。
(3) 個人情報保護 ・情報セキュリティ	個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報、統計情報、空き店舗所有者情報等の管理体制が充実しているか。
(4) 業務内容	調査設計・回収率向上	的確な回答の引き出し、回収率向上に繋がるような調査票作成上の工夫など、調査精度が高まることが期待できる提案内容となっている。
	空き店舗調査	現地確認、所在地特定、登記簿情報確認、オーナー調査の実現性が高い。
	分析・報告書作成	業種別・地域別分析、自由記述分析、政策検討に資する示唆が的確である。 報告書等のアウトプットイメージの質が高い。
	スケジュール・独自提案	実施可能なスケジュール提案が十分にできている。 独自提案に有効性がある。
(5) 企業継続性・安定性	決算書	自己資本比率、流動比率、流動負債等が適正である。
(6) 価格評価	見積書金額の妥当性	見積額、内訳、業務内容との整合性